

平成 28 年度環境学習等に関する取組の状況（東浦町）

1 生涯学習出前講座

町職員が講師となり、町政に関する講座を開催。

町内に在住、在勤又は在学するおおむね 10 人以上で構成された団体やグループからの申し込みにより出前講座を実施。

町全体で約 60 の出前講座メニューがあり、環境に関しては「ごみの分け方・出し方」、「環境基本計画」、「家庭の省エネ」、「川や水辺を調べよう」の 4 のメニューがある。

平成 28 年度の実績は、小学校（4 年生）から「ごみの分け方・出し方」、高齢者のグループから「環境基本計画」の出前講座の依頼があり実施した。

2 平成 28 年度 東浦の自然に親しむ観察会（資料参照）

東浦町主催による観察会を年 6 回、知多自然観察会主催による観察会を 5 回開催。内容は、資料のとおり。

東浦町が主催した 6 回の観察会（資料の観察会の名称に☆印がついたもの）の参加者数は、延べ 67 名。

3 明德寺の自然を守る会

東浦町内を流れる明德寺川及びその周辺の水質浄化対策や水辺創造事業を円滑に行うため、地域、小学校、中学校、地元企業等で明德寺川の自然を守る会を組織している。

自然を守る会では「植栽活動部会」、「美化活動部会」、「水質浄化活動部会」、「自然観察活動部会」の 4 部会に分かれ活動を行っている。

平成 28 年度活動実績は、清掃活動、草刈り、スイセンの植栽（毎年 1,000 球、3 か年で 3,000 球を植栽予定）、四季の移り変わりの観察、水質検査を実施した。

4 東浦自然環境学習の森（ガイドブック参照）

里地里山として自然環境の保全を図るとともに、楽しみながら自然とふれあい、人と自然の関係を学ぶ場の自然環境学習の森を設置。面積は、約 17 ヘクタールで水辺エリア、竹林エリア、森林エリアがある。保全・育成の会により保全活動を行っている。保全・育成の会は竹林部会、水辺部会、生きものの会、東浦竹灯籠の会、東浦里山フォレストの 5 部会で構成されている。

平成 28 年度環境教育の実績は、小学生が森の探検や竹の工作、中学生が里山の学習に訪れている。

夏休みには、小学生が参加し、東浦の里山にメダカを復活させるイベン

トとして東浦自然環境学習の森の小川の水質調査やメダカが住める環境づくりを行い、町内を流れる川で捕獲したメダカ 150 匹を放流した。

また、東浦自然環境学習の森でのガイドブックを作成し、町内小中学校等に配付した。